

英 語 —English—

英語は、総合人間学部が提供する英語と、その他の学部が提供する英語科目に分かれています。それぞれの単位規定や予備登録規程などについては、「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

① 総合人間学部が提供する英語科目

◆1 回生対象 英語 English

科目名	符 号	開講期	単 位	対象回生	定 員	備 考
英語リーディング	ER	前期	2	1のみ	約 40	1 回生専用クラス・アカデミックリーディング
		後期	2	1のみ	約 40	
	ESR	後期	2	1のみ	約 60	単位未修得者クラス
英語ライティングーリスニング A	EWLA	前期	2	1のみ	約 20	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLA	後期	2	1のみ	約 30	単位未修得者クラス
英語ライティングーリスニング B	EWL B	後期	2	1のみ	約 20	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング

1 回生対象の英語は平成 28 年度に再構築されました。英語科目には大別して、リーディングクラスとライティングーリスニングクラスの二つがあり、それぞれを履修しなければなりません。

リーディングクラスは、学部の履修方針に応じた洋書や、まとまった長さのある学術的な文献などを対象としたアカデミックリーディングを通して、英語による学術的教養の涵養を目指しています。アカデミックリーディングは、英文の意味を捉える読解力の強化を目指すとともに、その文章が書かれた文化的、社会的背景や思想などにまで踏み込むものです。教員からの一方的な教授ではなく、対話による能動的な学習を行うことで、英米のみならず、様々な国の文化や社会、思想の理解を通じて、真に国際人として通用する教養と知識の涵養に努めます。

ライティングーリスニングクラスは、一クラスあたり約 20 名の少人数クラスによる、きめ細かな指導の下、英語技能の修得に努めます。ライティングに関しては、学術的な文章の作成に必須となる論理的な英文の基本構造を学び、エッセイライティングやレポート作成などのアカデミックライティング活動を通して、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、リスニングに関しては、オンライン課題に取り組むことで、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力を育成します。さらに、外国人教員と日本人教員のチームティーチングを導入し、前期もしくは後期のいずれかを外国人教員が担当することで、英語コミュニケーション能力の育成を目指します。

いずれのクラスも、大学の英語科目としてふさわしい内容とレベルを考慮しています。

◆2 回生以上（平成 27 年度以前入学者）対象※

英語 II English II

② 総合人間学部以外の学部が提供する英語科目

◆主として 1 回生対象

Scientific English I A (Reading and Writing)

Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)

◆2 回生以上（平成 27 年度以前入学者）対象※

文学部英語 A・B

English (Humanities) A・B

英語 (教育科学)

English (Education Science)

法学政治学英語 I・II

English (Law/Politics) I・II

経済英語 A・B

English (Economics) A・B

科学英語 (理学)

Scientific English

Frontiers and Paradoxes of Science

学術コミュニケーション英語 A・B

Practical English A・B

科学英語 (医学)

Scientific English

科学英語 A・B

Scientific English A・B

Scientific English II (Presentation & Discussion)

Advanced Scientific English (Debate)

※平成 29 年度以降、上記科目の一部は科目群及び科目名が変更され、E 科目（p.64）として指定の上、開講される予定です。平成 28 年度入学者について、学部により変更後の科目が必修科目に指定されている場合があります。